

「頸椎前方固定術」で手術を受けられる患者さんへ **入院から退院までの予定表**

※ この予定表は、おおよその目安です。患者さんの状態等により、予定が変更になることもありますので、ご了承ください。なお、わからないことがありましたら、遠慮なくス

様

性別: 男性 ・ 女性 患者番号: \_\_\_\_\_

主治医 \_\_\_\_\_

2012. 1改訂

	月 日 前日	月 日(手術当日)		月 日 1日後	月 日 2日後	月 日 3日後	月 日 4日後	月 日 1週間後	月 日 2週間後	月 日 15日目
	前日	手術前	手術後	1日後	2日後	3日後	4日後	1週間後	2週間後	15日目
<b>普通の経過</b>	手術に対する心の準備を整えます。		痛み止めを使いながら疼痛コントロールができます。 頸部の安静が保てます。(主治医の指示により首に装具を付けて過ごすこともあります。離床が出来ます。)							
<b>診察 処置 投薬 治療</b>	当院や他院で処方されている薬剤をすべて持参して下さい。  手術が午前の場合、必要に応じて首や足の付け根の毛をそらせて頂くことがあります。 <b>麻酔科医師の診察。</b>  血栓予防のために弾性ストッキングのサイズを測り、お渡しします	男性の方はひげを剃って下さい。 手術が午後の場合、必要に応じて首や足の付け根の毛をそらせて頂くことがあります。 <b>8時頃点滴点滴が開始します</b> 胃を保護する注射 抗生剤の点滴(手術室)	痛い時には痛み止めを使用します。 点滴を翌朝まで行います。 手術室から首に管が入ってきます。 むくみをとる注射 抗生剤の点滴	ガーゼ交換をおこないます。 首に入っている管を抜きます。 採血 食事が7割くらい食べられれば、栄養の点滴は終了です。 抗生剤の点滴(朝と夕) 主治医の指示によっては首に装具を付けることもあります。				採血 レントゲン	採血 レントゲン	抜糸
<b>説明 指導</b>	手術前の説明をします。 自宅での生活について伺います。 薬剤師が手術前後の点滴について説明します。		手術の後、医師の説明があります					薬剤師が注射薬の副作用や痛み止めの効き具合を確認にきます。	医師・看護師から退院についてお話しします。	薬剤師より退院後薬についてお話しします。(退院前までに)
<b>トイレ</b>	制限はありません。 便秘ぎみの時は相談して下さい。	手術までは点滴スタンドを押しながらトイレに行くことができます。	尿管が入っています	尿管が抜けたらトイレへ行けます。						
<b>安静</b>	制限はありません。 (医師の指示がある場合は、この通りではありません。)		ベッド上安静です。  一人で寝返りはできません。必ず看護師が行います。	起き上がることができます。(医師の指示によっては装具を付けることもあります)  リハビリ訓練を始めます。平行棒・歩行器での歩行訓練を開始します				自力歩行を始めます		
<b>食事</b>	午後9時以降は食べられません。水分は摂ることが出来ます。 栄養士が病室に伺います。	手術開始の〇時間前までお水が飲めます。	飲水・食事は出来ません。	軟らかい食事から開始します。食べられない方は、看護師・栄養士にお知らせ下さい。						
<b>入浴</b>	手術の前日なので、病棟でシャワーまたは、入浴して下さい。	入浴できません。		蒸しタオルで身体を拭きます。	創部に異常がなければ、防水性のフィルムへ変更して、シャワーが出来ます。					